

獅子島だより

青い海と緑の島で学び 未来を拓く獅子島の子

3・4月号

<http://www4.synapse.ne.jp/shishichu/> 令和8年4月13日発行

獅子島でひらく心とページ 園長・校長 松岡 仁志

新年度が始まりました。幼稚園・小学校・中学校の職員も一つにつながり、子供たちの成長を見守り、支えている様子が見られます。

例えば、新1年生が登校して階段を上がるときに、幼小の職員が連携して見守る姿。児童生徒の学力等向上のために、日々努力する職員の姿。複式学級においても、小中乗り入れ授業を行うことで単学年での学びを実現するなど、様々な工夫が重ねられています。そうした取り組みに深い敬意と感謝を感じています。

さて、先月末に「島立ち式」や異動する職員の見送りがありました。船出前の、教師から子供たちや島民への感謝の言葉、涙、岸壁まで走って手を振り続ける子供たちの姿、離れていく船から応える姿…そこには言葉では表しきれない思いがあふれていました。

こうした体験は、映像や AI では得られない、人と人との深いつながりとして、子供たちの心に刻まれていきます。その一方で、現代は映像や AI に触れる機会が増えています。だからこそ、親子で向き合い、心を通わせる時間が大切です。

例えば、一緒に本のページをめくる時間は、子供たちの言葉の力や想像力を育てる貴重な親子タイムとなります。「数分だけ」「寝る前に数ページだけ」でも構いません。生活の中に取り入れてみませんか。親子で交互に読んだり、読んだ本を紹介し合ったりするのもおすすめです。「昨日は読めなかったけど今日は読めたね。」そんな一言が、子供たちの意欲を育てます。新学期を迎え、子供たちは期待と不安の両方を抱えています。温かいまなざしと前向きな言葉、そして親子で過ごす時間が、子供たちの心の土台を支えます。本年度も、しなやかに、たくましく成長する姿を共に支えていきましょう。

☆ 4月23日は「子ども読書の日」、毎月23日は「親子読書の日」です。カレンダーに丸をつけ、親子の時間を見直してみませんか。

令和8年度

卒業式・卒園式



卒園式では、修了証書を堂々と受け取り、あいさつをする6人の卒園児の姿に、3年間の成長を実感しました。

卒業式では、小学校6人、中学校7人の卒業生は、引き締まった面持ちで卒業証書を受け取りました。共に過ごした楽しい日々の思い出や別れを惜しむ気持ちが入り交じる中、温かく感動的な式となりました。

令和8年度

入学式・入園式



令和8年度は3人の入園式となり、年中・年長の園児を合わせると9人で幼稚園生活を送ります。「ふるさと大好き、やりたいことがいっぱい、やさしく元気な子供」を教育目標に教育活動を充実させます。

入学式では、小学校7人、中学校4人の新入生を迎えました。今年度は、幼小中を合わせると70人になります。「青い海と緑の島で学び、未来をひらく獅子島の子」をキャッチフレーズに、獅子島のよさや特色を生かし幼小中が一体となって教育活動を展開していきます。

PTA年度末総会が行われ、令和8年度PTA活動の良い締めくくりができました。責任ある役目を誠実に努めてくださった令和7年度役員の皆様、お疲れさまでした。新役員の皆様、新年度から、どうぞよろしくお願いいたします。

【令和8年度 PTA役員】※敬称略

総務部 〈PTA会長〉 濱 良太郎 〈PTA副会長〉 杉原 修・中橋 茜・小畑 真樹
 研修部 部長 千葉 麻生 副部長 大谷 幸司
 生活指導部 部長 池元 孝 副部長 楠元 俊一
 保健体育部 部長 荒田 剛 副部長 福浦 誠吾

4月中旬～5月中旬の主な行事

- 4月
 全国学力・学習状況調査→23、28【G6】 13、21、23【G9】
 標準学力検査→13、14【小】 14、15【中】
 身体測定 10【中】 14【幼】 15【小】
 14日(月) 全国学力・学習状況調査(理)【中】
 16日(木) PTA総会、学級PTA
 21日(火) 心臓検診【G1、7】
 22日(水) 二者相談～23日【中】
 24日(金) 校内スケッチ大会【小】
 園外保育(鯉のぼり)【幼】
 27日(月) 体力テスト～30日【小】
 28日(火) SC来校
 園外保育(親子遠足)【幼】
- 5月
 1日(金) 全国学力・学習状況調査(英語)【G9】
 7日(木) 第2回PTA役員会
 実力テスト ～8日【中】
 9日(土) 地震・津波避難訓練、引き渡し訓練
 11日(月) 振替休業【幼】
 児童生徒総会【G3—9】
 12日(火) ヒラメ放流【小】
 13日(水) 眼下健診
 15日(金) PTA歓迎会



島立ち式・辞任式が行われ、多くの保護者・卒業生、地域の皆様にも参加いただき、島立ちを迎えるG9の生徒、転任される先生方とのお別れの時を過ごしました。先生方、新たに高校生活を迎える皆さんの新天地での御健康と御活躍を心よりお祈りしております。



3学期の保護者の学校アンケートより

内 容	幼	小中
学校(園)は、学校便りや学級通信で教育活動のねらいや様子を分かりやすく伝えている。	3.7	3.3
学校(園)は、特色を生かした行事や教育活動を行っている。	3.7	3.4
学校(園)は、体育・保健・食育・安全の活動をとおして、子どもの健やかな体づくりを充実させている。	3.7	3.4
先生たちは、子どもの学力向上に努めている。(子供を理解し、子供の成長の援助を適切に行っている。)	3.8	3.4
先生たちは、子どもの行動・言動に対し、きちんと認めたり指導したりしている。(基本的な生活習慣の育成について、家庭と共通理解を図っている。)	3.8	3.3
子どもは、生き生きと学校生活を送っている。(喜んで登園している。)	3.7	3.2
子どもは、学校・学級で好ましい友達関係を保っている。(友だちと一緒に遊ぶことを楽しんでいる。)	3.8	3.4
子どもは、授業が分かりやすいと言っている。(いろいろな遊びの中で、表現する楽しさを体験できている。)	3.5	3.1
子どもは、家庭でしっかり学習に取り組んでいる。(自分の思いを伝えたり相手の思いを理解したりするような体験ができている。)	3.7	3.0
子どもは、あいさつや返事がしっかりできる。	3.8	3.1
家庭は、PTA 活動や行事への関わりをとおして、子どもの教育活動に参画している。	3.7	3.4
家庭は、「早寝・早起き・朝ごはん」に努めている。	3.5	3.5
家庭は、メディアを適切に使えるよう工夫している。	3.3	3.0

アンケート項目に関して以上の結果となりました。自由記述欄への感染症等に関する御意見・御要望で貴重な御意見をいただきました。以下に、今後の改善点について簡単にまとめます。

感染症対策について、現行換気の徹底、手洗いの励行、出席停止期間の遵守などガイドラインに基づいた対策を行っています。校内で感染が確認された場合は、関係機関と連携し、適切な対応（学級閉鎖等の判断や保護者へのお知らせ）を実施いたします。また、必要に応じ、登下校バスや子供第3の居場所スマイルアイランドと連携します。

- 感染症に関する情報を公表する際、本校では以下の点に配慮します。
- (1)【**個人特定につながる情報の非公表**】罹患した児童生徒や教職員等のプライバシーを守るため必要最小限の範囲を超えて公表しない。
 - (2)【**不当な差別・偏見の防止**】 感染は誰にでも起こりうることであり、罹患した本人が責められるべきではありません。情報の断片から個人を特定しようとしたり、SNS 等で根拠のない噂を流布したりすることは、人権侵害につながる恐れがあります。
 - (3)【**心のケアの優先**】 罹患した児童生徒が、回復後に安心して登校できる環境を整えることが学校の責務です。本校では「正しい知識に基づいた人権教育」を継続し、思いやりのある態度の育成に努めます。

本校は、すべての児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、感染対策と人権配慮の両面に全力を尽くしてまいります。何卒、御理解と御協力をお願いいたします。

令和 7 年度 鹿児島・学力学習状況調査(令和 8 年1月実施)の結果より

※ 鹿児島学力・学習状況調査は児童生徒の学習状況を把握・分析し、教育施策の改善や指導の充実に役立てることを目的として全県下の小・中学校の児童生徒を対象に実施されます。調査は国語、算数・数学、理科、英語などの教科と質問紙調査で構成されます。

数値は本校の児童生徒の正答率(県の全体平均との比較)

	国語	社会	算数・数学	理科	英語	合計
小学5年	53.1 (+1.4)	65.6 (+10.2)	44.5 (+1.5)	71.2 (+12.5)		59.8 (+6.8)
中学1年	60.0 (+0.6)	72.5 (+22.8)	64.6 (+17.1)	58.3 (+8.2)	85.2 (+24.7)	67.3 (+13.7)
中学2年	50.6 (-1.4)	63.2 (+7.9)	49.1 (+12.2)	48.6 (+0.4)	52.8 (+8)	53.0 (+4.6)

以上から、本校の特色ある教育活動の成果が数値としても結果に表れました。
なお、児童生徒の質問紙調査の質問項目の一部を以下に紹介します。

【主体的・対話的で深い学び】

項目1―3「この学年で受けた授業について、あなたは課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」

項目1―4「あなたは、授業や学校生活で、友達や周りの人の考えを大切にしておたがいに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。」

項目1―5「あなたは、授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができていると思いますか。」

【学びに向かう力、人間性等】

項目1―13「自分にはよいところがあると思いますか。」

項目1―15「自分でやると決めたことは、やりとげるようにしていますか。」

項目1―16「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか。」

【自己調整・家庭学習】

項目1―9「わからないことや精しく知りたいことがあったときに、自分で考え方を考え、工夫することはできていますか。」

項目1―10「学習した内容について、わかった点や、よくわからなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。」

項目1―11「家庭学習では、自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、計画を立てて活動していますか。」

これらの質問項目の回答で、小・中ともに県平均を上回る結果が得られました。

本調査を踏まえ、成果となった部分、課題となる部分について把握・分析し、今後も、子供一人一人の実態把握から、個別最適な学び・協働的な学びの実現し、教育活動お充実に努めます。